YAMAHA
Make Waves

キックオフ

2023年度　YCS　健康経営キックオフ

1．はじめに

2．2022年度の振り返り

3．2023年度の実行計画

4．おわりに

2023/4/19

ヤマハコーポレート
サービス
社長　星野　博信

１．はじめに

２．2022年度の振り返り

組織ミッション

YAMAHA

ヤマハコーポレートサービスのミッション

ヤマハグループの重要な専門業務を担う**プロフェッショナル集団**として
高品質で**効率的**なサービスを提供し、
グループ全体の事業競争力向上に貢献すること。

高品質・高効率を実現するCSDX戦略

Centralize

✓ グループに散在する管理業務を集約

集約化

各社個別実行の無駄がなくなる

Standardize

✓ One Systemに標準化

標準化

各社個別の品質のばらつきがなくなる

DX

✓ Digital Transformationで効率化

変革・革新

イノベーションで圧倒的な生産性

YCS 戦略全体図

YAMAHA

戦略		既存事業領域								新規事業領域		
G経営に貢献	ヤマハGに散在する業務の ・集約 ・標準化 ・品質向上 ・効率化	HR事業	トラベルS事業	経理事業	総務事業	物流事業	MW事業	HS事業	ICT事業	ITアジアOS	技術シェアード	事務シェアード
変革力を高める	YGC	・YGC-A YGC-B YGC-C ➡ 効果の定量化 ・電子化・自動化・AI化 等 ➡ ペーパレス拡大＝サステナビリティ								横展開		
	専門性向上	・専門資格取得支援強化 ・スキルマップによるスキル可視化、強化策の実行										
	人材育成	・全社要員戦略に基づく優秀人材の採用・登用 ・次世代人材の計画的育成										
経営基盤を安定	社内コミュニケーション	・全社一体感醸成施策 ・職場訪問、交流会等										
	コンプライアンス経営	・セミナーの開催 ・モニタリング実施継続										
	健康経営	・ホワイト500・女性活躍・子育て支援、WLB等 ・労働安全衛生活動										

2022年度活動総括（2022年4月～2023年3月）

YAMAHA

1．各社における基本方針と抑止目標／実績

1）基本方針

ヤマハグループ：「安全と健康は全てに優先する」

1）日常行動における事故防止に向けた安全意識の高揚
2）交通事故防止のための危険予知・防衛運転の推進
3）「健康経営優良法人～ホワイト500～」認定更新（達成）

2）抑止目標／実績

労働災害	…	全社員０件/１件　1件増	
交通事故(有過失)	…	全社員２件/5件　3件増	※通勤事故増を受けYCS臨時安全運転講話を3月に実施(3/9.10.13)
		全派遣スタッフ　0件/１件　1件増	
時間外（一人平均）	…	コロナ前平均（12.5H/月）13.3%　0.8増	

2．実施施策と総括

	実　施　施　策	総　括	
		取り組み内容	成果と課題
安全衛生	①通勤マップの見直しに基づく危険ポイントの確認 ②継続的な交通KYTの実施（ﾘﾓｰﾄ活用） ③同乗運転実技診断 ④交通事故防止講話の実施（継続） ⑤事故事例の共有、安全運転管理協会情報の提供 ⑥管理設備・備品の安全点検（リスクアセスメント）実施 ⑦安全運転管理協会事故防止コンクール参加 ⑧労働危険予知活動（労働安全KYT） ⑨産業医による職場巡視	駐車場ローテーション後の通勤路を前提にした危険ポイントの見直し確認 ヤマハグループの交通KYTに加え、事故発生部門での臨時KYT実施。KYTリーダー研修参加 新入社員（5名）、前年度有過失事故発生者等の同乗者指導実施（コロナ状況により中止アリ YCJとのコラボにて講話による、安全意識の向上により事故削減を図る 安全衛生委員会での事故（労災/交災）事例、及び行政からの情報共有 業務推進・本社保全の管理する設備・備品を対象に、リスクの自己評価継続実施 静岡県運転管理協会主催コンクールに各職場代表チーム参加継続実施 該当職場にて月１回実施し、危険行動・作業理解の向上を図る 法令に基いて月一回の職場巡視を行い職場環境の改善を実施し、災害防止を図る	駐車場再申請を機に、MAPの危険ポイント見直しを実施（4月中） ｺﾛﾅによる集合研修中止、研修資料配信にて実施/毎月KYT実施 本社同乗指導はｺﾛﾅによる研修中止(新入社5名は実施) YCJとのコラボイベント（Web版交通安全セミナーにて参加） 委員会での共有、YCSポータルを利用した全社員への周知 手順書やマニュアルの見直しが必要な場合に実施（業務推進実施） 結果待ちにて本年度も参加予定（各事業部より） 保全・業務推進職場にて労働KYTを毎月実施した。 産業による職場巡視を毎月行い指定事項の改善報告の共有を実施。
WLB推進	①WLBの推進 ②適正な労働時間の管理 ③管理監督者によるマネジメント強化	月間時間外・休出労働に関する36協定特別条項届出時間（80時間）の社内周知継続 部門別WLB推進目標（毎週稼働最終日の新たな勤務ルール、時間外、有休取得） の設定と社内周知継続 YGC改善活動、RPA推進による業務効率化 管理職の長時間労働モニタリング・対策開始 年間を通した休暇取得奨励活動継続 勤務時間乖離チェックの継続 新任ライン長への労務管理教育、長時間労働者・有休取得状況のモニタリング結果 共有継続	委員会を使用して数字共有と職場への周知・徹底を実施。 部門による金曜以外1日をNO残業Day設定の継続と取り組み内容 継続と推進 各事業部でのYGC改善活動を行い表彰制度を活用し改善を実施。 基幹職休出残業も抽出し適切な勤怠管理・休暇取得推進した。 取得予定日の部内共有と部門長の月次確認・推進 乖離チェックによる適正な時間入力を推進 全社・部門別平均と共に、個人別状況も共有
健康経営推進	①健康診断受診率の向上 ②長時間労働者へのフォロー強化 ③適切な睡眠時間の確保 ④健康に対する意識の醸成 ⑤喫煙対策（全面禁煙化での禁煙推奨） ⑥新型コロナウィルス感染症防止対策継続実施	受診率の向上に向けた実態把握、家族の受診率向上に向けた対象者への案内 時間外75時間超過者の産業医面談実施継続 個人別深夜残業状況のモニタリング、是正に向けた対策継続 全社員を対象とした健康セミナー開催、ヤマハグループ健康づくり運動への参加奨励 ヤマハ方針「全面禁煙」の実施に伴う、ヤマハ健康管理C禁煙外来・ 健康保険組合禁煙活動の紹介（禁煙外来負担一部補助） 導線上へのアルコール消毒剤設置、感染対策を継続	家族受診案内周知、委員会での職場内100%受診徹底依頼 70h超上司面談/希望者は産業医面談、75h超産業医面談実施 個人別深夜残業状況モニタリングし、経営層・部門長に共有 11/17　山本産業医による健康セミナーをリモートにて開催 「本社構内全面禁煙」外出喫煙者への注意喚起と禁煙外来など 世界禁煙デーなど喫煙者サポート活動を案内して利用を促す 時期に応じた対策を実施し、年間を通じて注意喚起継続中

３．2023年度の実行計画

YAMAHA
Make Waves

200期 実行計画

2023/3/7

ヤマハコーポレートサービス

総括

1.SS事業（１）既存領域：受託範囲拡大と効率化等をﾊﾞﾗﾝｽよく実行
（２）新規領域：調査・検証ﾌｪｰｽﾞからﾄﾗｲｱﾙﾌｪｰｽﾞへ
2. 変革力 ：SS効果可視化継続／専門力up、人材育成、方向付け→実行
3. 働きがい：各種取組を通じた働きがいがあり働きやすい業務基盤の確立

重点戦略	199期	200期	201期	目指す姿
1.SS事業を通じてG経営に貢献 **(1)既存シェアード領域** SS既存 ① 受託範囲拡大等 ② 効率化・標準化等 **(2)新規シェアード領域** SS新規 ① ITｱｼﾞｱｵﾌｼｮｱ立上 ② SS新領域進出	受託企業・受託範囲拡大、新ｻｰﾋﾞｽ提供等 受託業務の効率化・標準化の追求 調査・情報収集 調査・情報収集	開発トライアル 中沢トライアル	ｻｰﾋﾞｽ開始 ｻｰﾋﾞｽ開始	広く・深く グループの間接業務を集約し、効率化・標準化
2.変革力を高める 変革力 (1)ｸﾞﾙｰﾌﾟ貢献の定量化・可視化 ① YGC(Yamaha Group Contributions) ② 業務の電子化・自動化 (2) 専門性向上 (3) 人材育成	定量測定 SS重点ﾃｰﾏとの連動強化 30WF化/年、時間短縮3000h/年 専門資格取得強化、英語力強化 戦略的人材育成、教育体系整備、女性、若手			変革力の可視化・定量化の追求 次世代YCSを担う人材の計画的育成
3.働きがいの高い職場風土の醸成 働きがい (1) 働きがいの向上 (2) 女性活躍推進、WLB (3) 健康経営	意識調査に基づく改善PDCAの実行 プラチナくるみん、えるぼし継続認定 安全衛生、ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ、W500継続認定			働きがいがあり働きやすい業務基盤の確立

2023年度活動方針・施策（2023年4月～2024年3月）

YAMAHA

1．基本方針、重点実施項目と抑止目標

基　本　方　針	抑　止　目　標
ヤマハグループ：「安全と健康は全てに優先する」 1）日常行動における事故防止に向けた安全意識の高揚 2）交通事故防止のための危険予知・防衛運転の推進 3）「健康経営優良法人～ホワイト500～」認定更新	労働災害　…　全社員　0件（対前期実績　1件） 交通事故(有過失)　…　全社員　2件（対前期実績　5件） 全派遣スタッフ　0件（対前期実績1件） 時間外（一人平均）…　全社員　12.5H/月（前期実績13.3ｈ）

2．実施施策と具体的内容

	実　施　施　策	具　体　的　内　容
安全衛生	①通勤マップの見直しに基づく危険ポイントの確認	駐車場ローテーション後の通勤路を前提にした危険ポイントの見直し確認
	②継続的な交通KYTの実施（リモート活用可）	ヤマハグループの交通KYTに加え、事故発生部門での臨時KYT実施。KYTリーダー研修（資料提供）
	③同乗運転実技診断	新入社員（5名）、前年度有過失事故発生者等の同乗者指導実施（コロナ状況により中止アリ）
	④交通事故防止講話の実施（継続）	YCJとのコラボにて講話による、安全意識の向上により事故削減を図る
	⑤事故事例の共有、安全運転管理協会情報の提供	安全衛生委員会での事故（労災/交災）事例、及び行政からの情報共有
	⑥管理設備・備品の安全点検（リスクアセスメント）実施	業務推進・本社保全の管理する設備・備品を対象に、リスクの自己評価継続実施
	⑦安全運転管理協会事故防止コンクール参加	静岡県運転管理協会主催コンクールに各職場代表チーム参加継続実施
	⑧労働危険予知活動（労働安全KYT）	全国安全週間での各職場実施と該当職場にて月１回実施し、危険行動・作業理解の向上を図る
	⑨産業医による職場巡視	法令に基いて月一回の職場巡視を行い職場環境の改善を実施し、災害防止を図る
WLB推進	①WLBの推進	月間時間外・休出労働に関する36協定特別条項届出時間（40時間）の社内周知継続 部門別WLB推進目標（毎週稼働最終日の新たな勤務ルール、時間外、有休取得）の設定と社内周知継続 各部門取り組みの推奨、YGC改善活動、RPA推進による業務効率化 管理職の長時間労働モニタリング・対策継続 年間を通した休暇取得奨励活動継続
	②適正な労働時間の管理	勤務時間乖離チェックの継続し適正な勤怠管理を継続
	③管理監督者によるマネジメント強化	新任ライン長への労務管理教育、長時間労働者・有休取得状況のモニタリング結果共有継続
健康経営推進	①健康診断受診率の向上	受診率の向上に向けた実態把握、家族の受診率向上に向けた対象者への案内
	②長時間労働者へのフォロー強化	時間外70時間超過者の産業医面談実施継続
	③適切な睡眠時間の確保	個人別深夜残業状況のモニタリング、是正に向けた対策継続
	④健康に対する意識の醸成	全社員を対象とした健康セミナー開催、ヤマハグループ健康づくり運動への参加奨励
	⑤喫煙対策（全面禁煙での禁煙推奨）	「全面禁煙」による、ヤマハ健康管理C禁煙外来・健康保険組合禁煙活動の推奨
	⑥新型コロナウィルス感染症防止対策継続実施	導線上へのアルコール消毒剤設置、感染対策を継続（グループ基準を順守）

４．おわりに

YAMAHA

Make Waves